

本とあそぼう

Vol. 15

# こどもみんと

2002年 6月  
 宇佐市民図書館  
 〒879-0453  
 宇佐市大字上田1017-1  
 Tel. 0978-33-4600  
 Fax. 0978-33-4679

父<sup>ちち</sup>は 風<sup>かぜ</sup> 雨<sup>あめ</sup> 黒雲<sup>くろくも</sup> 青空<sup>あおぞら</sup> 太陽<sup>たいよう</sup>

父<sup>ちち</sup>の働<sup>はたら</sup>いている  
 そこは……

百姓<sup>ひやくしやう</sup>の父<sup>ちち</sup> 6年 吉岡つや子



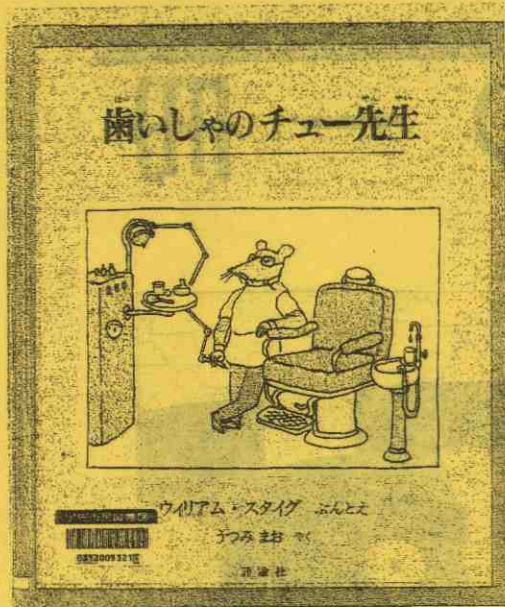
京都 竹田小

わたしは  
 屋根<sup>やね</sup>の下<sup>した</sup>で  
 毎日<sup>まいにち</sup> 勉強<sup>べんきやう</sup>している  
 その下<sup>した</sup>で 米<sup>こめ</sup>をつくる  
 その下<sup>した</sup>で たばこをすい  
 その下<sup>した</sup>で 汗<sup>あせ</sup>をかき  
 その下<sup>した</sup>で 手足<sup>てあし</sup>を動か<sup>うご</sup>かし



《きりん》の詩集 2  
 『続 子どもの詩が生まれた』より

灰谷健次郎 編 理論社 刊



はじめたからには  
最後まで。

チュー先生、えらい!



# おしごととおしごと

『はいしゃのチュー先生』

ウィリアム・スタイグ ぶん・え  
うつみまお やく 評論社

チュー先生はとても上手なはいしゃさん。でもネズミなので、ネコなどはみません。そんなとき、キツネが来ました。特別にみてあげることにしましたが、キツネはチュー先生を食べてやろうと…。  
どうする? チュー先生。



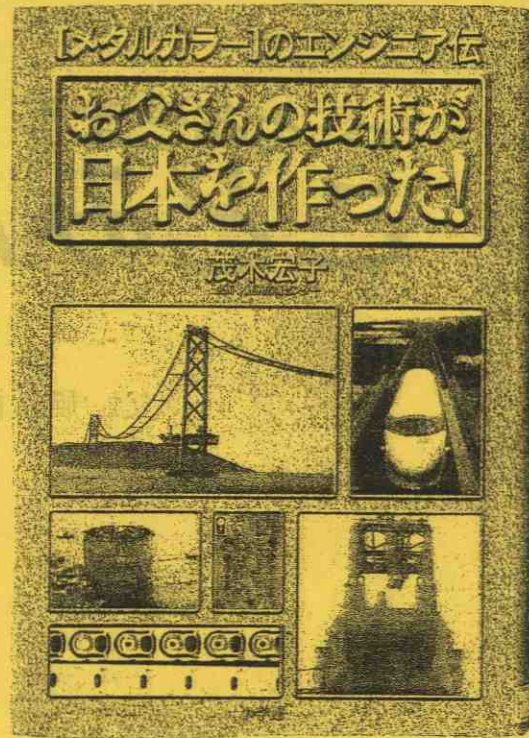
まだまだあるよ!  
読んでおもしろい、

お仕事の本



『メタルカラーのエンジニア伝』  
お父さんの技術が日本を作った!  
茂木弘子 小学館 刊

リニアモーターカー、国際電話、  
明石大橋、ジュースの缶、時計。  
どつやつて作ったのが、直接かか  
わってきた人がお話ししてくれます。  
なんだか、小さいときは時計を分解し  
ていた人が多いような気がします。



『やってみたいなこんなしごと7  
花屋さん』  
斎藤貢一写真 武田万樹文  
あかね書房 刊

いつもきれいな花にかこまれている花屋さんは、ちょっとやってみてみたい。リヤカーからはじめたというお二人は、仕入いろいろな作業も、とっても楽しそう。

なぜこのお仕事に? というインタビュもありません。16・17ページのお店の写真もキレイ。シリーズであります。

どくだんとへんけんによっているかもしれない

# 今月の一冊



『まめうしのおとうさん』

あきやま ただし 作

PHP研究所 刊

3cmのちいさなまめうしくん。でも、お父さんはとっても大きい。そして、とっても頼りになる。

いつもは近くにいないけど、いざという時にはやって来て、助けてくれる。スゴイ。

でも、そんなお父さんの小さいときはね…。

人気の「まめうし」シリーズの一冊です。